【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】令和6年4月19日(2024.4.19)

【国際公開番号】WO2022/004225
【出願番号】特願2021-534683(P2021-534683)
【国際特許分類】
Ｄ０１Ｆ　6/62(2006.01)
Ｄ０１Ｆ　8/14(2006.01)
Ｄ０１Ｄ　1/10(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０１Ｆ　6/62　３０２Ｅ
Ｄ０１Ｆ　8/14　　Ｂ
Ｄ０１Ｄ　1/10　１０３

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月10日(2024.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ポリエステルモノフィラメントの溶融紡糸方法において、溶融ポリマーを下記Ａ～Ｄ項の特徴を有するフィルタ層で濾過した後に、紡糸口金から紡出することを特徴とする、繊度３．０～１３．０ｄｔｅｘ、強度５．０～９．０ｃＮ／ｄｔｅｘ、５％伸長時の強度２．７～６．０ｃＮ／ｄｔｅｘであるポリエステルモノフィラメントにおいて、繊維長手方向１００万ｍ中に存在する、繊維直径に対して１１０％以上の繊維径である異常部分の全長Ｌが２，０００ｍｍ以下であるポリエステルモノフィラメントの製造方法。
Ａ．円形断面を有する金属短繊維が焼結されてなるフィルタ層であって、濾過精度が１０μｍ以下でかつ、その厚みが２ｍｍ以上のゲル捕捉フィルタを有すること。
Ｂ．多角形断面を有する金属短繊維が焼結されてなるフィルタ層であって、濾過精度が４０μｍ以下でかつ、その厚み２ｍｍ以上のゲル細分化フィルタを有すること。
Ｃ．濾過部の上流側から、ゲル捕捉フィルタ、ゲル細分化フィルタが配されていること。
Ｄ．ゲル捕捉フィルタ、ゲル細分化フィルタの少なくともいずれか一つが波型形状になっていること。
【請求項２】
ポリエステルモノフィラメントの溶融紡糸方法において、溶融ポリマーを下記Ａ～Ｄ項の特徴を有するフィルタ層で濾過した後に、紡糸口金から紡出することを特徴とする、繊度３．０～８．０ｄｔｅｘ以下、強度５．０～９．０ｃＮ／ｄｔｅｘ、５％伸長時の強度２．７～６．０ｃＮ／ｄｔｅｘであるポリエステルモノフィラメントにおいて、繊維長手方向１００万ｍ中に存在する、繊維直径に対して１１０％以上の繊維径である異常部分の全長Ｌが２，０００ｍｍ以下であるポリエステルモノフィラメントの製造方法。
Ａ．円形断面を有する金属短繊維が焼結されてなるフィルタ層であって、濾過精度が１０μｍ以下でかつ、その厚みが２ｍｍ以上のゲル捕捉フィルタを有すること。
Ｂ．多角形断面を有する金属短繊維が焼結されてなるフィルタ層であって、濾過精度が４０μｍ以下でかつ、その厚み２ｍｍ以上のゲル細分化フィルタを有すること。
Ｃ．濾過部の上流側から、ゲル捕捉フィルタ、ゲル細分化フィルタが配されていること。
Ｄ．ゲル捕捉フィルタ、ゲル細分化フィルタの少なくともいずれか一つが波型形状になっ

ていること。
【請求項３】
繊度３．０～１３．０ｄｔｅｘ、強度７．５～９．０ｃＮ／ｄｔｅｘ、５％伸長時の強度２．７～６．０ｃＮ／ｄｔｅｘであるポリエステルモノフィラメントにおいて、
繊維長手方向１００万ｍ中に存在する、繊維直径に対して１１０％以上の繊維径である異常部分の全長Ｌが２，０００ｍｍ以下であるポリエステルモノフィラメント。
【請求項４】
繊度３．０～１３．０ｄｔｅｘ、強度５．０～９．０ｃＮ／ｄｔｅｘ、５％伸長時の強度２．７～６．０ｃＮ／ｄｔｅｘであるポリエステルモノフィラメントにおいて、繊維長手方向１００万ｍ中に存在する、繊維直径に対して１１０％以上の繊維径である異常部分の全長Ｌが２，０００ｍｍ以下であるポリエステルモノフィラメントであって、該ポリエステルモノフィラメントの溶融紡糸方法において、溶融ポリマーを下記Ａ～Ｄ項の特徴を有するフィルタ層で濾過した後に、紡糸口金から紡出することを特徴とするポリエステルモノフィラメント。
Ａ．円形断面を有する金属短繊維が焼結されてなるフィルタ層であって、濾過精度が１０μｍ以下でかつ、その厚みが２ｍｍ以上のゲル捕捉フィルタを有すること。
Ｂ．多角形断面を有する金属短繊維が焼結されてなるフィルタ層であって、濾過精度が４０μｍ以下でかつ、その厚み２ｍｍ以上のゲル細分化フィルタを有すること。
Ｃ．濾過部の上流側から、ゲル捕捉フィルタ、ゲル細分化フィルタが配されていること。
Ｄ．ゲル捕捉フィルタ、ゲル細分化フィルタの少なくともいずれか一つが波型形状になっていること。